

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機
（365））

2. 日時：令和2年11月17日 13時30分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

新基準適合性審査チーム

江寿企画調査官、角谷管理官補佐、義崎管理官補佐、建部主任安全審査官、千明主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、服部主任安全審査官、照井安全審査官、日南川技術参与、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

山田常務執行役員 電源事業本部 部長（電源土木） 他20名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは時間になりましたので、補完アクセスに関するヒアリングを始めたいと思います。
0:00:10	資料については 11 月の
0:00:15	全道パワーポイントだけは 16 日ですかね。
0:00:19	あとはタテベ中略タテベ 16 日の提出資料かと思いますがけれども、早速説明のほうを始めてください。
0:00:27	規制庁テレビでした。
0:00:34	はい、中国電力のヨシモトです。それでは本日の資料の確認をさせていただきます。
0:00:39	提出年月日はいずれも令和 2 年 11 月 16 日となります。
0:00:44	資料番号は EP で 61 回 68 率となっており、括弧説明用のパワーポイント資料、
0:00:52	括弧か I の審査会合における指摘事項一覧。
0:00:55	学校会議のヒアリングにおける指摘事項一覧。
0:00:59	まとめ資料括弧比の比較表となり、10 月 20 日。
0:01:04	10 月 20 日に行われました 1 回目のヒアリング以降の変更箇所を赤字でお示ししております。
0:01:11	なお、女川 2 号炉との比較表につきましては、令和 2 年 6 月 26 日盤からの変更はございません。
0:01:20	また、本日の御説明において、斜面に係る内容については、地震津波側の審査を踏まえて説明させていただくこととし、
0:01:28	まとめ資料比較表には該当箇所が残っておりますが、パワーポイント資料の説明箇所からは削除させていただいております。
0:01:38	資料の不足等はございませんでしょうか。
0:01:42	それからテルイです。大丈夫です。
0:01:48	はい、中国電力のヨシモトです。それでは、資料番号括弧会に
0:01:52	ヒアリングにおける指摘事項一覧の 20 ページをお願いいたします。
0:02:14	No.98 以降の斜面に係る内容以外の箇所について、関連する内容ごとに順不同で回答させていただきます。
0:02:22	まず、ナンバー 114A から御説明させていただくんですけども、資料会の 2 の 21 ページをお願いします。
0:02:33	規制庁のテルイです。すいません。今 21 ページから、順不同でとおっしゃっていたんですけども、これしか 114 番から上からやっていくわけではなくて、
0:02:48	順不同でっていうのはどういう意味です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:53	はい、中国電力のヨシモトです。と関連する内容ごとに説明させていただこうと考えておりました。ということですね、
0:03:03	隻に質疑も測まとめて回答してからするというか、その関連するところで説明をいただいて質疑というふうにしたいと思いますので、エリアの人固まりましたら、区切って、
0:03:18	なんかが関連するものとか、
0:03:22	やってからっていいんですけど、ある程度のところで区切って質疑を挟みたいんですけど。
0:03:28	それはその方向で大丈夫。
0:03:32	はい、中国電力のヨシツグでございます。了解いたしました。それでは関連する項目の日コメントごとで一括説明させていただいて区切ってご質問を受けられるような形にしたいと思います。以上ですはいけちゃってるですよろしくお願ひしますすいません中断いたしましたけど、コメント回答お願ひします。
0:03:59	はい、中国電力の橋本です。それが説明に移らせていただきます。
0:04:03	ナンバー114。
0:04:05	区間一、二の境界設定の考え方について説明すること。
0:04:09	続きましてナンバー119。
0:04:12	岩盤面の傾斜がいっぱい入れて波の場合、表面の傾斜は最大 5%程度となる理由を説明すること。
0:04:20	続きましてナンバー120 款Ac後構成について説明すること、これらにつきまして、資料番号括弧設の 4 のパワーポイント資料の 7 ページで御説明させていただきます。
0:04:32	7 ページをお願ひいたします。
0:04:43	資料右上に記載の通り、一般号炉北西側におけるアクセスルートのうち、前回お示しできなかったかも含めて、②②断面として縦断ぞ全線にわたりお示ししております。
0:04:56	〇〇2 断面については岩盤面の傾斜に伴い、埋戻 6 削減の層厚が変化する区間 1 と岩盤面が概ね水平で埋め戻しどうスタッフ全員の層厚が厚い区間に分類し、そこを流動の影響検討を実施いたしました。
0:05:14	なお、お示した 10 段部のうち、最大傾斜発生期間における最大傾斜を計算した結果、5%程度であり、許容値 15%を下回ることを確認しております。
0:05:26	以上がNo.110419 及び 120 に対する回答となります。
0:05:35	はい、中国電力のヨシツグでございます。ここで一旦区切らせていただきたいと思います。どうぞ。
0:05:43	すべてのテルイです。それでは今の部分で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:48	何かと思います。
0:05:52	大丈夫。
0:06:02	規制庁チギラですか。
0:06:07	はい、中国電力ヨシモトです。聞こえております。はい。
0:06:11	6 ページのところ、当会合の指摘事項。
0:06:15	ですか。
0:06:16	海岸付近のアクセスルートにおけるそこを流動ということで、当会合で指摘をしていて、それで今回は回答としては損番号 6 だけ、北西側のアクセスルートを選定しと。
0:06:31	いうところで回答されているんですが、海岸付近のアクセスルートっていうのは、当該箇所以外にも 12 号炉の北側に 2 号炉北側ですね。
0:06:41	にもあるんですが、思ったりは選定はしてないんですけど、評価っていうのはどこかでされてるんでしょうか。
0:06:47	お答えください。どうぞ。
0:06:55	はい、中国電力のヨシツグでございます。チギラさんがおっしゃられた通り、2 号炉の北側のところにも部分が該当する箇所でございますが、こちらにつきましては、
0:07:10	すぐそばに防波壁がございまして、その後 IP が基本的には、
0:07:15	の背面が流入するかどうかということで、こちらよりは、3 号北側のほうが大きく変動するということで 3 号北側の結果のみを今、記載をさせていただいております。したがりましたように、2 号のほうの結果につきましては、この資料上は今お示ししておりません。以上です。
0:07:35	はい、規制庁チギラです。理由は、今説明でわかりましたが、資料には、今の内容ですねと反映してまとめ資料のほうにですね。
0:07:47	図面等も詰めてですね、反映していただければと思うんですが、いかがでしょうか。どうぞ。
0:07:56	はい、中国電力のヨシツグでございます。一点御確認させてください。図面等というのは、外筒位置の図面とか一方地質図といったものでございましょうか。どうぞ。はい。規制庁チギラです。理解で大丈夫です。
0:08:16	はい、中国電力のヨシツグでございます。わかりました
0:08:21	まとめ資料のほうに絵とそういったものの方法を追加をさせていただいて、江藤さんのほうを選んだ理由のほうは、説明資料のほうにさせていただきたいと思っております以上です。
0:08:35	規制庁のエザキですけども、まとめ資料、
0:08:39	では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	いわゆる会合で、
0:08:42	議論話し合いで、基本的には、
0:08:46	パワポに
0:08:48	いわゆる代表性を絞ったそのプロセスがわかるものとして、そういった記載を加えていただくとともに、
0:08:55	今、
0:08:56	うん。
0:08:57	ヨシツグさんがお話になったアクセスルートと
0:09:02	防潮ていうの離隔がそれらを断面的にわかるようなもの、それで基本的に1地質的なものが当然わかるような
0:09:10	御説明いただいて、いわゆる
0:09:13	補足流等の影響はないということが理解できるような
0:09:18	塗装作りをパワポでしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:09:24	はい、中国電力ヨシツグでございます。先ほど説明した内容のものでわかるようにですね、パワーポイントのほうを追記させていただきたいと思います以上です。
0:09:36	時系列よろしく申し上げます。
0:09:39	以上です。
0:09:43	以上ですとかありますか。
0:09:47	はい、じゃあ、次のコメント回答でございます。
0:09:52	中国電力の清水です。引き続きヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表の23分の22ページ。
0:10:01	鉄塔関係のナンバー121、122、123の3点のコメントについて回答いたします。
0:10:11	関係のコメント回答は、
0:10:14	まとめ資料E-061回68-別紙40にて説明させていただきます。
0:10:23	別紙40は588R1-1ページ。
0:10:29	EDF通しページ597ページからです。
0:10:38	コメント何1の選定フローと滑落評価の関係性について説明することについてですが、
0:10:46	592
0:10:49	R1ページをご覧ください。
0:10:52	次ページ、601ページです。
0:10:58	滑落評価が第4図の影響評価方法選定フロー上で明記されていませんでしたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:05	中央部青点線枠内の設備対策選定結果の2段目に影響範囲を確認するため、滑落評価を実施する旨を追記しました。
0:11:18	パワーポイント資料の13ページも同様に修正しています。
0:11:23	No.121のコメント回答は以上です。
0:11:28	次に、コメントNo.122の図4-5の鉄塔について断面図等を用いてアクセスルートへの影響を説明することについてですが、
0:11:40	同じくまとめ資料の595ページ。
0:11:45	EDF通しページの604ページをご覧ください。
0:11:53	第5図と第6図が同様にパワーポイント資料の15ページの図4及び図5に示されているのですが、
0:12:02	内鉄塔吸気についてとアクセスルートの位置関係が把握できる。
0:12:08	断面図を595R1-1ページから追記しました。
0:12:16	第7-1図は、①66kV貸増し線No.2-1鉄塔
0:12:24	③第2、66kV開閉所屋外鉄鋼、
0:12:29	④、220kV第2島根原子力艦船No.1鉄塔
0:12:36	⑤、220kV第2島根原子力艦船No.2鉄塔の断面位置を示しています。
0:12:44	①66kVかしませんナンバー2-1鉄塔からアクセスルートまでの距離を示す断面図は、
0:12:52	①-1の急傾斜方向に加えて、
0:12:56	アクセスルートへの最短距離として①-2の北東側と
0:13:01	595R1-2ページの01-3-南西側を記載しています。
0:13:10	丸井1鉄塔は鉄塔倒壊時に送電線落下により、①-3-南西側アクセスルートに影響を与えるため耐震性評価を行う鉄塔です。
0:13:25	595R1-2ページの③第266kV開閉所屋外鉄鋼及び595R1-3ページの
0:13:36	④、220kV第2島根原子力艦船No.1鉄塔は、
0:13:42	鉄塔倒壊範囲がアクセスルートにかかるため、耐震性評価を行う系統です。
0:13:48	⑤、220kV第2島根原子力が幹線No.2鉄塔は鉄塔倒壊時に送電線落下により、
0:13:57	北西側のアクセスルートに影響を与えるので、耐震評価を実施しますが、
0:14:03	鉄塔倒壊範囲においては、アクセスルートが地下トンネルとなっています。
0:14:10	次に、595R1-4ページの第7-2図は、②66kVかしません.No.3てつと、
0:14:21	⑨通信用無線鉄塔の断面位置を示しています。
0:14:27	②66kV貸します支線No.3鉄塔は、
0:14:33	②-1の急傾斜方向に加えて、アクセスルートへの最短距離として②-2の北東側と595R1-5ページ、②-3の北側を記載しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:49	66kV化しましてナンバー3 鉄塔は、
0:14:53	鉄塔倒壊時に送電線落下により、②-3 の北側アクセスルートに影響を与えるため滑落評価を行い、設備対策により、アクセスルートの健全性を確保します。
0:15:08	595R1-5 ページの⑨通信用無線鉄塔は鉄塔倒壊範囲がアクセスルートにかかるため、耐震性評価を行う鉄塔です。
0:15:21	次に、595R1-6 ページの第 7-3 図は、⑥、500kV島根原子力艦船No.1 鉄塔
0:15:31	⑦、500kV島根原子力艦船No.2 鉄塔
0:15:36	⑧、500kV島根原子力幹線No.3 鉄塔のダメージを示しています。
0:15:43	⑥、500kV島根原子力艦船No.1 鉄塔からアクセスルートまでの距離を示す断面図は急傾斜方向を示しています。
0:15:54	⑦、500kV島根原子力艦船No.2 鉄塔からアクセスルートまでの距離を示す断面図は、⑦-1、急傾斜方向に加えて、アクセスルートへの最短距離として 595R1-7 ページの
0:16:11	⑦-2 の南東側と、⑦-3 の東側を記載しています。
0:16:19	595R1-8 ページの
0:16:22	⑧、500kV島根原子力幹線No.3 鉄塔からアクセスルートまでの距離を示す断面図は、
0:16:30	⑧-1 の急傾斜方向に加えて、アクセスルートへの最短距離として⑧-2 の北側と 595R1-9 ページの
0:16:41	⑧-3 の北西側を記載しています。
0:16:47	No.122 のコメント回答は以上です。
0:16:51	次に、コメントNo.123 の
0:16:55	への入力条件について説明することについてですが、
0:17:00	同じくまとめ資料の 596R1 ページ。
0:17:06	BDF通しページの 614 ページをご覧ください。
0:17:11	影響評価方法として、耐震性評価に使用する基準地震動S _s や入力地震動の考え方など、
0:17:20	解析の入力条件について記載しました。
0:17:25	追記した箇所としては 596R1 ページに、
0:17:30	耐震性評価に使用した加速度応答スペクトル、
0:17:34	597R1 ページに入力地震動を作成の考え方。
0:17:40	599R1-1 ページと同 600R1 ページに解析の入力条件として、
0:17:48	地震動の入力位置方向、減衰定数の設定、風の影響について記載しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:56	耐震評価については、設置工認で説明を行います。
0:18:00	以上でNo.121、122、123 のコメント回答を終わります。
0:18:16	中国電力の清水です。ここで一旦鉄塔関係で区切り
0:18:22	以上です。
0:18:24	規制庁のテルイです。はい、ありがとうございます。それでは、ネット関係で、
0:18:28	コメント等ありますから、
0:18:46	規制庁の服部です。聞こえてますでしょうか。どうぞ。
0:18:51	中国電力の清水です。聞こえております。
0:18:54	はい。それでは幾つかありますので確認します。01 点目は先ほども
0:19:02	アクセスルート、
0:19:05	のところで話がありましたように、
0:19:08	介護
0:19:10	における指摘事項については、パワーポイント資料に反映して説明するようにしてください。
0:19:18	ただいまの説明を聞いていても、
0:19:22	まとめ資料で説明をされるとなかなか
0:19:29	あと理解しにくいところもありますので、パワーポイント資料に記載して説明していただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:19:49	しばらくお待ちください。
0:20:10	中国電力の清水です。パワーポイントの 2 ページの指摘事項一覧にあります。ナンバー47
0:20:21	の指摘事項に対して、本日説明した内容を追記するという事でよろしいでしょうか。
0:20:32	規制庁の服部です。もう少し具体的に言います。
0:20:36	まとめ資料の 595 ページのシリーズにある断面をまずはパワーポイントに示してください。
0:20:44	その上で、説明をするようにしていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:20:56	中国電力の清水です。はい。当断面図についてパワーポイントのほうに追記いたします。以上です。
0:21:05	はい、規制庁の服部です。
0:21:07	それではそのような形で説明していただくとして、中身について何点か確認いたします。
0:21:16	パワーポイント資料の
0:21:19	12 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:24	会合の指摘事項については、
0:21:30	各鉄塔の種別系統構造形状地盤構造等々を示した上で、どのような損傷モードを考え評価しているかを説明することになっていまして、
0:21:41	今のパワーポイント上の説明であっただけだと若干不足してるように感じています。
0:21:48	なので、まずは、先ほどの図面の中で、ネットの構造形状に上部工の構造形状については網羅的に示していただけていますが、
0:22:00	基礎の形状、
0:22:02	基礎構造の形状、
0:22:04	あと地盤の構造支持地盤の概要というのが示されていませんで、これらもきちんと踏まえた上で
0:22:12	会合資料のほうに反映していただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:22:19	中国電力の清水です。パワーポイント資料の 14 ページの表 2 鉄塔設置状況一覧表というところで、
0:22:30	各鉄塔の基礎構造につきましても支持地盤を含めて記載してるんですが、
0:22:37	いかがでしょうか。
0:22:40	規制庁ハットリです。基礎構造の構造、
0:22:45	経常形式面についてはそこに記載してあることは理解しています。ただ実際にその断面において、どのような形状してるかっていうのが明確になった方が説明性が上がると思いますし、ここで問題にしてるのは、
0:23:02	デットが滑落したときに、アクセスルートに影響があるかどうかという観点から確認をしたいと思っていますので、
0:23:09	図面のほうに少し図面が小さいんですが、当引き出し線などで拡大するような形をオフにしても結構ですので、基礎がどういうきそうなのかということが図面上でわかるようにしていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:23:29	中国電力の清水です。
0:23:31	まとめ資料、
0:23:36	血糖 600R1 ページ。
0:23:40	こちらの耐震性評価の説明は 200kV第 2 島根原子力艦船No.1 とナンバー2 を例に説明してるんですが、600 のR1 ページ、その次の 601 のある 1 ページ。
0:23:55	の、このような基礎、
0:23:58	形状を記載すればいいということでよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:04	規制庁の服部です。そうですね。ここまで細かい精密な基礎形状は必要ないんですが、例えば 600 ページにあるような基礎形状を見ると悔いがついてるような等、
0:24:19	明治もありますので、そこら辺も踏まえて網羅的にすべての鉄塔についてどのような形状しているかというのがわかるような図面にさせていただきたいと考えていますが、いかがでしょうか。どうぞ。
0:24:35	はい、中国電力の清水です。
0:24:37	そう形状をパワーポイントのほうに追記するようにいたします。
0:24:43	以上です。
0:24:45	規制庁の 800 です、地盤の場合 4 についてもよろしいでしょうか。どうぞ。
0:24:58	中国電力の清水です。と地盤の概要と言われますと、
0:25:04	投票総とかその辺りの地表の断面を入れるということでもよろしいでしょうか。
0:25:14	規制庁の服部です。
0:25:15	今回は対象外ですけれども今後斜面の話も出てきますので、今の
0:25:26	の断面図について、岩盤の地層ですとか、表層に表層地盤があれば表層地盤まで級岩盤があればできる岩盤も含めて、地層形状がわかるようにさせていただきたいと考えていますがいかがでしょうかどうぞ。
0:25:43	中国電力のセイキです。
0:25:45	今お示ししている断面図にですね、すべて地質岩級の分布を見るといいますとちょっと作業の方、
0:25:55	大きなものになろうかと思っております、看板を鉄塔支持しております岩盤、一番と書いておりますところの換気を入れますとかそういったことで対応させていただきたいかと思うんですが、いかがでしょうか。
0:26:11	規制庁の服部です。わかりました。会合が日にちが日程が決まっていますので、それに合わせてできる範囲で
0:26:23	一番形状がわかるような段目を示してさせていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:26:30	中国電力のセイキです。承知いたしました。
0:26:35	はい。それと、
0:26:39	パワーポイント 12 ページのほうに戻っていただいて、指摘事項についてはどのような損傷モードを考えて評価しているかを説明することと書いてありまして、これについても、もう少し PowerPoint 場で丁寧に説明してさせていただきたいと考えています。
0:26:55	例えば、
0:26:57	まとめ資料の 342 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:13	ここにはいろいろな倒壊事例というものが載っています。
0:27:17	実際に地震による倒壊事例というのは真ん中の一つだけですけども、その他の倒壊事例についても、地震によって発生する可能性もありますし、このようなところも参考にしながら、どのような損傷モードを考えているか。
0:27:34	血糖自体が折れ曲がりまたは基礎が沈下して滑る
0:27:43	とかですね、そういうことの損傷モード。
0:27:46	を考えてどのように評価するかということもアポイント非常に丁寧に説明したとしていただきたい。それがわかるような資料にして説明していただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:28:01	中国電力の清水です。
0:28:06	土木側のほうの滑り評価で地表面はすべらないという前提でもう鉄塔基礎についての評価を行ってます。
0:28:20	そのような形で記載基礎については記載させていただきます。
0:28:25	以上です。
0:28:28	はい。規制庁の服部です。そうですね。そのような形も斜面については今後説明するということがありますので、まずは簿のような損傷モードを考え評価しているかということが、
0:28:44	に対する回答が資料上で明確な異なるように記載をして説明をしてください。いかがでしょうか。どうぞ。
0:28:54	中国電力の清水です。了解いたしました。
0:29:13	規制庁のエザキですけども。
0:29:15	実際まとめ資料の3年間約93-RV-1ページ。
0:29:23	なんです、
0:29:25	その
0:29:27	2段落目の
0:29:29	ところで、最後の言葉で、
0:29:32	例えば、鉄塔
0:29:35	約66kVから約200、220kVの鉄塔
0:29:42	これに関しては耐震性を確保されていることを確認するっていう話になっているんですけど。
0:29:49	この設置許可の中で検討するのは結構目指そうとしてるわけじゃないんですよ。今の
0:29:55	資料構成と
0:29:57	違いますか、方針までですよ。
0:30:01	はい、中国電力の清水です。はい、方針までです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:06	であればですね、確認するじゃ終わらないと思います。あくまでもですねアクセスルートに関しては時間評価に関係してくるので、時間評価に関係するのであれば、何らか
0:30:18	日程も変わり得ないという時間がですね、そういう話がないと担保とれないと
0:30:27	我々も適合性の判断ができないので、
0:30:30	書き方次第だと思うんですけど、今、確認するってあるけど、
0:30:34	要は鉄塔の耐震性を確保できるように設計するんですよね。
0:30:39	できなければ、もう1回を補強するなりしているっていうことも含めて設計するっていうふうに思うんですけど。
0:30:47	ここまで説明があるのであれば、ある意味、
0:30:50	そう鉄塔に関しては、
0:30:53	アクセスルートに影響できないように設計するということを断定していただく。
0:30:58	的に書いていただければそれは一つの方針になると思うんですが、ただ確認するって言って、影響があったらどうなんですかという話が終わっていないので、
0:31:07	結局クローズできないんですよ。
0:31:09	言ってる意味わかりますか。
0:31:12	はい、中国電力の清水です。はい、記載の文章が少し説明不足でしたので、追記するようにいたします。以上です。同じようにですね責められないことを確認すると3行下からありますけど同様な話でこの辺ですね。
0:31:29	以前から申し上げているんですが、
0:31:32	基本的設計方針ということで書くのであれば、基本的に影響がないように設計するっていうのも機能維持ができるように設計するというのは、基本、
0:31:42	できない。
0:31:43	いいですかと思いますんで、その辺は、
0:31:47	もうしっかり等、
0:31:49	整合をとって書いていただきたいというのは、一つですので、同じようにさっきのパワーポイントの中も同じ同様ですんでそこも含めてですね。
0:31:58	そちらのほうをある程度やりがいついて、多分大丈夫だろうという話がありますが、そこ。
0:32:04	単なる相場感だけで許可を出すわけにはいかないもので、それなりの担保取れるような表現の仕方があると思いますので、説明、そういった記載に適正化してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:20	はい、中国電力の清水です。設計方針につきまして、適正化いたします。以上です。
0:32:29	すべての 800 です。さらに確認します。14 ページをお願いします。
0:32:36	14 ページの一番下のところに直接アクセスルートに影響を及ぼさない 500kV の鉄塔については影響評価が兵教
0:32:47	評価対象外とするという記載がありますが、なぜ影響評価対象外にするかという理由が記載されていませんので、基本的にはですねパワーポイントで、それもわかるように記載をしていただきたいと思います。
0:33:03	おそらく断面員数を今回示されているので、あとはアクセスルートまでの距離も示されているので、これを見れば十分離れているので問題ないでしょうということを
0:33:17	読み取ってくださいということかもしれませんが、基本的には、そういうことではなくて、事業者みずからがこういう理由で影響評価ガイドなんですということが御説明していただきたいと思いますので、それがわかるような資料にしてください。いかがでしょうか。どうぞ。
0:33:36	はい、中国電力の清水です。509 をとると鉄塔について対象外の理由を明確化追記いたします。以上です。
0:33:49	規制庁の服部です。はい。わかりました。あと 1 点、もう 1 点
0:33:55	適正化記載の適正化ですけれども、
0:34:00	パワーポイント資料の
0:34:06	12 ページの図なんです、
0:34:09	文字が少しちょっと見にくいと思いますので少し解像度を上げていただきたいと思います。番号が少しちょっと読み取れないので、14 ページの表とかと見比べたときに、
0:34:24	どこがどこだろうなというのがちょっとわかりにくかったので解像度を上げていただきたいと思います。いかがでしょうか。どうぞ。
0:34:33	中国電力の清水です。はい、文字につきまして解像度を上げます。以上です。
0:34:41	はい、規制庁の服部です。わかりました。よろしく申し上げます。私からは以上です。
0:34:55	9 乗辺りです。他何かあります。
0:35:00	中国電力の山本ですけれども、はい、えっと、先ほどのコメントで 1 点確認をさせていただきたいんですがよろしいでしょうか。はい。
0:35:11	はい。先ほどエザキさんのほうからですね。鉄塔評価とかについては

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:17	設計の方針でもこのようにするというのを等に表現は全部見直しをさせていただきます。担当者もそのようにしていくようにしますんで、それは設工認の段階で評価結果などは提出させて説明させていただくように考えておりますが、
0:35:36	その段階で設置許可のこの資料の中に鉄塔の基礎であったりその地盤が正常であったりといったような資料まで入れておいたほうがよろしいのでしょうか。
0:35:49	ちょっと確認です。以上です。
0:36:11	規制庁エザキですが、その辺はですね。
0:36:15	説明責任があるかどうかと思います。いわゆるそこで現実性のないような、このバーとかできれば私の前パワーアップしますし、ルートも変わっちゃうかもしれない、そういうこともかんがみたときに、
0:36:28	何が課題なのか何か論点のみかっているのですね、改めて早めに示したほうが、その部分に関しては、
0:36:38	うん。
0:36:39	議論ができるんだと思いますが、ルート変更しなくていい。
0:36:43	のかそれとも層、いわゆる地盤ということは、斜面としてスベるかスベらないかという問題だと思うんですけど。
0:36:52	そうした話で、
0:36:56	また、また新たな課題があるのかどうかということも含めてしっかりとまだ斜面の部分残ってると思うんですけど、そこを含めて説明いただければと思いますがヒロイでしょうか。
0:37:07	中国電力の山本です。わかりました。そのあたりしっかり判断して必要なものはページさせていただきます。以上です。
0:37:22	規制庁の服部です。わかりました。ちょっと私から先ほどの
0:37:27	500kV0にした評価についてちょっと念のためもう1回だけちょっと念押しをさせていただきたいと思いますがいかがでしょうかどうぞ。
0:37:38	中国電力の山本でございます。お願いいたします。
0:37:42	例えば／まとめ資料の595ページ、R1-8ページの8-2の断面を見てください。具体的にちょっと各
0:37:52	明示をお伝えしたいと思います。
0:37:56	例えば8-2の断面だと、確かに距離は離れている影響がなさそうに見えるんですけど、一方で、滑落した場合は、ガスタービン発電建物のところまで、
0:38:12	滑り落ちていく可能性も否定できないというふうにも読み取ること読み取ることができます。なので、単に距離が離れているからいいですよということではなくて、一つ一つの断面に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:26	こうこうこういう理由で影響がないんですということを、距離が離れていることも含めて説明していただきたいという趣旨だったんですが、次回その理解でよろしいでしょうか。どうぞ。
0:38:42	中国電力の山本でございます。
0:38:45	えっ。
0:38:46	当ペット全部について言うんですね、全体が維持できるようにしまして、例えば今の8の鉄塔であればですね、これに関しては勝てなくすれば、もう何らかの影響がありますので、
0:39:02	当社としてはこれはもう必ず滑落しないように維持する方針でも臨みたいと考えておまして、現状が滑落するしないではなく、対応も含めてちょっと今、対滑落しないようにすることで考えております。
0:39:21	そしてこの前の3って、なのっ鉄塔であるとか、6の鉄塔
0:39:30	であればですね、こちらはまず距離的に滑落しても問題ないので、特に
0:39:37	問題はないかというふうには考えておまして、
0:39:41	すべてのものを一律にというわけではございません。それからアクセスルートに影響のある鉄塔であるものについてはすべて影響がないようにいたします。はい、ちょっとそういうもう設計方針というものがありますので、
0:40:00	評価だけで逃げられるものは、数は多くはないと思っております。はい。以上です。
0:40:06	はい、規制庁の服部です。それで確かに9番の595ページR1-5-9番の通信を無線鉄塔については耐震性、耐震評価をしますということの方針を示されているのでそれはそれでいいとして、
0:40:26	ポイント14ページには500kV系のものについては、影響を及ぼさないので評価対象外とするって書いてあるので。
0:40:35	今の説明と少し違うような気がするんですけども、例えば今は595ページR1-8の8-2のことを言いましたけれども、それであればそのように投票説明していただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:40:55	はい。その辺りも見直させていただきます。はい。以上です。中国電力のヤマモトでした。
0:41:02	規制庁の服部です。わかりました。距離が離れていっているといっても駄目によってはそれぞれ状況が違いますので、それを踏まえて記載をしてください。あとそれともう一つ、
0:41:19	記載していただきたいことがあったので
0:41:22	もう一つ
0:41:24	記載をしていただきたいんですが、595ページ、R1-5。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:29	－2 の②－3 の断面については、
0:41:34	要員のアクセスルートというのを作る方針というふうに聞いてますので、
0:41:42	そのイメージというのを、この断面の中に出てもらうということはできますでしょうかどうぞ。
0:41:52	はい、中国電力の清水です。当要員通路につきまして、②－3 に断面図に落とし込みたいと思います。
0:42:01	以上です。
0:42:02	規制庁の服部です。そのようにお願いします。私からは以上です。
0:42:13	よろしいですか。規制庁ハバサキです。
0:42:16	まとめ資料 599－1－1、鉄塔への入力条件、記載を確認しましたので、今図－12 のところに入力条件ということなんですけれども、
0:42:31	これ結局、
0:42:34	13530315、それから 225、45° 方向、これに関して、入力するっていう理解でよろしいんでしょうか。
0:42:47	中国電力の清水です。こちらの入力 1 方向につきまして、水平鉛直の同時入力と考えております。また一方向の理由ですけど、送電線の影響が大きい線路方向、あと取材の鉄塔の執拗出合いの分担応力が大きい。
0:43:07	体格方向で伏在の分担応力が大きい線路方向と線路の直角方向以上の 8 方向で評価するようにいたします。以上です。消えちゃうわけです。了解しまして、今口頭で言われたようなことをですねもうちょっとこう、
0:43:25	説明のところの文章を入れてもらいたっていうのと、あと上下動に関しても入力されるっていうことなんで、それについても記載のほうを充実して参りたいと思いますがいかがでしょうか。
0:43:38	中国電力の清水です。記載の充実化を図ります。以上です。はい。私からは以上になります。
0:44:00	規制庁の服部です。
0:44:02	今回のヒアリングに関して、
0:44:08	以外のことなんですけど、14 ページにあるような影響評価外とするという方針を立ててるものについては、
0:44:17	五条全体の説明の中でいろいろな箇所で見られてると思います。ですので、ちょっともう一度五条ま 4 条も含めてですけども、全体を見渡して、
0:44:31	影響評価ガイドするという方針になっているところで、その影響評価外とする理由、根拠の説明が不足してくるところについては、説明を充実させるようにしていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:02	はい、中国電力のグローバルで 45 条につきましても確認の上必要に応じて追加させていただきます。以上です。
0:45:11	規制庁の服部です。わかりました。私からは以上です。
0:45:28	それぞれです他よろしいでしょうか。はい。それでは続いて説明をお願いします。
0:45:36	中国電力の藤本です。続きまして海を水源とした場合の中性え及び大量送水車の配置関係のコメントとしまして、名ナンバー115、116、117、118 見まして 124 番について、
0:45:52	まとめて説明をさせていただきます。
0:45:54	まずねナンバー1169 款の使用作業性について説明すること。こちらパワーポイント資料の右肩、17 ページのほうで説明させていただきます。17 ページをお願いいたします。
0:46:09	17 ページ赤字部分中央でなお書き以降のところになりますが、大量送水車による海水取水は 1 ポンプを支えている送水ポンプによるシングルベキにて予定を確保します。これに伴い流動枚方ホースから枚方ホースプラス休館に変更します。
0:46:26	この 9 款の主要作業性につきまして米印の方で記載をさせていただきます。
0:46:32	広がったホースを想定し、一般部の真空引きにより、ホースがつぶれて流量が確保できないことから神宮空間を負圧力のあるって感じているよう加工いたします。
0:46:42	また休館敷設ことは短く、訓練実績により、枚方ホウ素同等の時間で降る作業が可能であることを確認させていただきます。
0:46:50	また休館は消防要求間の技術上の理屈上な企画を定める省令に適用しております。配付圧力マイナス 94kPa で十分保持でも変形しないことがあります。
0:47:02	送水ポンプをマイナス 82kPa 程度で改装添付吸い込むことから、変形することなく、いろいろ 8 が確保が可能です。
0:47:11	なお 9 緩和対応送水車にさせて保管をいたします。
0:47:15	No.116 有価な仕様作業性につきましては以上になります。
0:47:20	続きまして、117 番変更前後の作業性、作業時間の違いにつきまして次のページ、
0:47:26	18 ページのほうで説明させていただきます。
0:47:31	18 ページにつきまして、改正する必要の緩和設備を大型送水ポンプ車から大量送水車に変更することによって、全体作業時間を 28 本短縮しております。
0:47:42	前回説明の際には、タイムチャート、この 18 ページのタイムチャートを示しておりましたが、今回は時間短縮に関係がある、作業を、このタイムチャート上

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	赤枠で囲っております。さらに作業につきまして、①までに、③番で番号取りをしまして、
0:47:59	次のページ、19 ページのほうでその短縮内容について新たに説明進めております。19 ページ目をお願いいたします。
0:48:08	表のほう、主な時間短縮が可能作業につきまして、まずNo.の①、海水取水箇所もあり、EL8.5 メーターバーの作業、こちら作業配置水中ポンプの設置になりますが、70 分から 38 分のほうに、時間短縮を映画館になります。
0:48:24	内容としましては、大型送水ポンプ車の水中ポンプが 130kmに対して大量送水車のものは 20kmの円／設置は容易やはり時間を要する。
0:48:34	また大量送水車は大型放水ポンプ車に比べて高かったで作業の取り回し及び配置に時間を要しないことから、時間短縮が可能です。
0:48:42	また②番IC内包設備につきましては 49 分からGuide作業なし。
0:48:47	③番、車両間EL8.5 から 15 メーター番の放水設備につきましては、46 分から 16 に短縮してございます。
0:48:56	内容につきましてはまず②の作業排水ラインホースにつきましては、大型送水ポンプ車はポンプの流量調整範囲に入るようへ排水ラインを設置流路を確保してございましたが、
0:49:07	大量送水車はポンプの出口圧力に応じた流量調整が可能であることから、排水の設置を要することから最後 3 地区でございます。
0:49:15	上記②の作業を要しないことから海水取水箇所もあり、もう緊急対策要員が③のホールで作業を実施することで作業時間の短縮可能です。
0:49:26	なお書きになりますが、①と③の作業、こちら一部並行作業、前回の説明際には、時間短縮のために閉合作業することとしてございましたが、今回作業負荷軽減のためにシリーズ作業員が分かれることなく、一連の流れで作業を実施することに変更してございます。
0:49:44	また③につきまして、対応送水車で使用する 150Aホースは大型送水ポンプ車も 300 円補正に比べてきよる軽量であり、補足説明する接続に時間を要しません。
0:49:56	以上の①から③これらの作業の違いによって、作業全体として 28 分の短縮が可能であることを確認しております。
0:50:04	ナンバー117 の作業時間への提言って違いについての説明は以上になります。
0:50:10	続きまして、718 体を構成して 2 台を使用したSA手順変更する手順を説明すること。こちらパワーポイントの 22 ページから説明させていただきます。22 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:26	22 ページのほうで表のほうで手順ごとの設備変更内容を表に示しております。
0:50:33	またSA手順、原子炉圧力容器注水、格納容器スプレイの下部注水燃料プールへの注水スプレイ並びに低圧原子炉代替注水系の保険につきましては、変更前は大型送水ポンプ車へ原子炉補機代替系用と大量送水車、送水をこの 2 台を直列につないで創設することとしておりました。
0:50:53	変更後では、改正するような設備を変更しまして、大量送水車を海水を用います。
0:50:58	送水用の大量送水車は変更はございません。
0:51:02	また表の下になりますが、輪谷貯水槽西 1 または 2 指令の補給、こちらの設備につきましても、原子炉補機代替冷却用の大型送水ポンプ車から海水取水用の大量送水車のほうに設備を変更しております。
0:51:17	なお米印 3 に示しておりますが、ワラント水槽の件につきましては、海水取水及び送水の作業を、この 1 台のほうで実施することが可能でございます。
0:51:28	まだ米印をにつきまして、大量送水車の送水用への送水へまたは谷貯水槽西への補給、これらに使用する大量送水車は同一のものを使用いたします。
0:51:41	次のページ 23 ページのほう、冒頭のほうで、これ変更後の手順、
0:51:46	における注水手順の成立性のほうをこちらのほうで示しております。
0:51:51	ナンバー118 の手順変更につきましては以上になります。
0:51:55	続きまして、ナンバー110 号、
0:51:58	大量送水車の保管場所の設定の考え方。
0:52:02	並びに 124 番、大量送水車も n と o の考え方、まだ呼び径は考えにつきまして、この 23 ページの下のほう、下の表で説明をさせていただきます。
0:52:13	表 3 大量送水車の保管台数及び保管場所の変更につきまして、前回の表から用途のほうを追加してございます。
0:52:21	大量送水車の送水につきましては、EL414 メーターばこちらは谷貯水槽西からの送水使う場所またいえる 15 メーターはこちらは海を水源とした想定のとときの飛来物配置場所になります。
0:52:34	この設備につきましては第 2 第 3 保管エリアに 1 台ずつ配置します。
0:52:38	また第 4 保管エリアに予備コミュニティに示しておりますが、予備のほうを 1 台が 4 階に配置をいたします。
0:52:46	また、下段になりますが、海水取水用の大量送水車、こちら EL8.5 メーターバ一周辺で海水の取水持ちます。
0:52:54	これも設備は第 1 と第 4 保管エリアに行きたいです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:57	配置をいたします。また第4保管エリア米印に書いておりますが、この2台のうち1台は予備に該当します。
0:53:05	またこのレベル3に示しておりますが、総水量と海水取水用の多様性及びは兼用でございます。
0:53:11	° 発電所全体でこの予備を確保し、この議題につきまして、要求されるいずれの機能を満足することから、この二つの手順において、予備のほうを兼用で1台を確保することとしております。
0:53:25	以上で海水取水関係大量送水車の配置の関係についての説明は以上になります。ここで一度区切らせていただきます。以上です。
0:53:35	それではテルイありがとうございます総勢では、
0:53:41	はい。
0:53:59	規制庁のカドヤです。今の御説明でコメントもしかしたらですね、前回は確認をさせていただいたかもしれないんですけどもあるかもしれないけど、19ページのところで、
0:54:14	今回時間が短縮になりましたっていう説明でまず①の海水取水箇所周りの作業でポンプが130kmから約20kgに軽くなってっていうところで、
0:54:29	これ実際の作業としては前はユニークじゃないですけども前についているクレーンとかでこうポンプをしてるような作業が必要だったところが、20kgになったんで、そこは人が
0:54:43	討論力だけでできるようになったから、まず短くなったっていう、そういう理解でよろしいですか。
0:54:51	中国電力の田中です。カドヤさんが言われた通り
0:54:56	もともとこれんで、次へ運搬作業をするところから29になりますので人力で運ぶとポンプを運ぶという作業に変更になってございます。以上になります。
0:55:07	わかりました。ちょっとすいません私が忘れてしまうもあるんですけど、この今短縮された大きな要因って多分軽くなったただけだけでも、いわゆる作業として
0:55:20	指導できるようになった時人力でできるようになったっていうところが大きいと思うんで、少しその要員がわかるようにこの時間短縮可能な作業内容のところに少し補足を加えていただけないでしょうか。
0:55:34	であったからと金丸さんのほうの
0:55:37	多くのところも、
0:55:39	本日のところは、各50円から300Aに300Aから150円になってっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:46	これは何か何か要因があって作業が早くなる、または単に軽くなったから、早く持ち運びできますとかそういうことなんですかね。
0:55:58	中国電力の田中でございます。まず記載のa、
0:56:02	当拡充というかですね、
0:56:04	ここについては了解いたしましたので、二つ目のですが御質問で300Aのほうと150Aのホースの作業につきましては、大型送水ポンプ車で300Aの放送を使用して河成こう前にですね、2号のポツ
0:56:21	当社清掃前の作業するんですけども、そのあと250Aのホースに接続し直してですね、
0:56:29	媒介金具を用いてですね300円ホースから150円ホースに変わるといったそういったような作業もありまして、そういったものも短縮時間の一部になりますので、そういったところですね記載の確認をしまして修正いたしますじゃない。
0:56:44	CAPEとかで、わかりにくいですね、この100300から150円の返還がていう変換の作業がいらなくなるってということで今おっしゃっていただいた通り、ちょっとそこがわかるように記載を適いただければと思います。
0:57:02	中国電力の田中です。了解いたしました。
0:57:09	系統のカドヤですと、それから、
0:57:12	23ページのところの大量送水車の件ですけども、
0:57:20	ちょっと確認はまとめ資料なのを、まとめ資料と言ってるのはEP061って書いて68の技術的能力の
0:57:28	432章の第43R1ページから、この表も差しかえていただいていると思うんですけど。
0:57:39	東天紅として我々が前回まで表のつくりはいっぱい両方全社っていうのが真ん中に2ヶ所出てきていて、それぞれある高さでもって書いていたと思うんですけど。
0:57:53	だから設備名としては大量送水車で一つでも今度はこの要望によって、
0:58:02	分類をするという形になっているってということで、何か整理としては基本変わってなくて表現の仕方が変わりましたという理解をすればいいですか。
0:58:15	中部電力のフジモトですね。その通りでございます。説明名称としては対応送水車のままでこの表のほうで使用場所の方としてそのさらに隔壁で用途を記載して整理をするという形に変更してございます。以上です。
0:58:30	わかりました屋根のための確認的に例えば43条の表1の表とかにおいても、説明としては踏まで大量送水車ってということで出てくるという理解でいいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:44	中国電力のミナミダテですね、43 条の教育においても大量送水車という名前で登録してあります。以上です。
0:58:52	わかりました。あと上でまた書き方の確認になるんですけど、今このまとめ資料の 43R-1 ページをご覧いただくと、大量送水車で 3 台確保送水用というか管台括弧
0:59:08	海水取水をってなっていて、
0:59:11	パツと見 6 台あるようには見えるんですけど実際はこの第 4 保管エリアの 1 台を予備機を共用しているから、合計は 5 台になるということになると思うんですけど。
0:59:23	これ、これ何か表の中で、
0:59:28	ほかにも共有しているのはあるかもしれないですけど、今このさんSUNって書かれているところとかですね、予備が 1 台 1 台ってそれぞれ書かれてるけど実際には、
0:59:39	1 台しか合わせて 1 台しかなくてっていう辺りは、
0:59:44	表の中では今あれですかね全体通してもそこまでの書き分けはしていないということなんでしょうかね。
0:59:54	英語でのフジモトです。その通りでございまして今は予備の件につきましては、例えばこの 43R1 の表でございましたら米印 6 のところで、大量送水車送水及び海水及び気体は兼用ということで、この備考の注釈のほうで表現をさせていただきます。
1:00:12	以上です。
1:00:13	これちょっと新しい方が規制庁のカドヤでいい方が悪かったんですけど、今第 4 保管エリアで※6 送っていただいているってことだとすると、例えばこれ今、予備のところも 1 台 1 台で書いてあるところに※6 を振る必要はないのかなとか、あとは配備数のところで 3 台管台で
1:00:31	6 台あるように見えますけど、実際は予備の金曜があるから、構台になるわけですけど、そこを何も例えば込める交付って、書き分けるとかですね、全体としてそこまでの整理をしませんということだからやる必要はないかなと思うんですけどちょっとその整理を示しました。
1:00:52	中部電力の藤本です。今のコメントへと兼用つきまして、検討のお答えとちょっとわかるように表のほうへ駐車区画場所等を前提で検討したいと思います。以上です。
1:01:04	なんか横串で整理がついていれば、潜航含めて確認いただいて、整理をつけていただければいいかなと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:16	あと、何かこれも違和感だけの話なんですけど、備考のところに※23456 であって、
1:01:25	元来に※1 っていうのが、
1:01:28	ありますよねなんか、
1:01:30	この方向性っていうのが何か。
1:01:33	若干、
1:01:34	んな稼働だめとかいうことじゃないんですけど、例えば 42R-1-1 だったら、米っていうのは欄外の下のところに※1 から 7 まで打ってあると思うんですけど。
1:01:49	5 項、
1:01:51	だめだよ。
1:01:55	これちょっと読みにくいかなと思いましたっていうことだけです。はい。
1:02:00	私からは以上です。
1:02:03	途中でのフジモトです。表現も含めまして、含めまして検討したいと思います。はい。以上です。
1:02:19	規制庁の義崎です。別紙の確認なんですけれども、17 ページ。
1:02:26	17 ページで 9 款のところは
1:02:29	追加していただいて、理解しましたので確認だけなんですけども、枚方ホースプラスっていう感に変更することは資機材あったかいで休館休館日資機材扱いで管理するっていうそういう理解でよろしいですか。
1:02:46	はい。
1:02:48	中国電力のミナミダテです。こちらの急患につきましては、大量送水車に常時保管されてるセット物としてですね、購入しているものでありまして、大量送水車の一部という扱いにしております。
1:03:04	資機材という扱いをしております。
1:03:11	以上です。
1:03:13	規制庁出席でありまして一応その保管場所はその対応送水車 2 セットでついでるっていうことだったんですけども、バラバラにしてなくなってしまうあるので、それはちゃんと資機材として管理するということで確認したかったところです。わかりました。
1:03:30	それとですね、
1:03:33	さっき構造。
1:03:35	大型送水車の話で 22 ページなんですけども。
1:03:41	低順で使うのは 22 ページの表の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:48	名三つのところで、大型送水ポンプ車は大量送水車を使うということなんですけども、大型送水ポンプ車に使うものはもう代替補機冷と放水砲に使う。
1:04:03	時しか等登場しないということですね。
1:04:10	大型送水ポンプ車の仕様はもうこれに限定されるということでもいいですかね。
1:04:19	中国電力のタナカでSA手順で使われる大型送水ポンプ車は今おっしゃられた二つの手順を持っているときに使います。以上になります。
1:04:38	規制庁の遺跡実施の手順で何か使うことはあるんです。
1:04:42	かっていうことになる。
1:04:46	中部電力の田中です。大型送水ポンプ車を実施して使う手順といたしましては、
1:04:54	他SAと原子炉の等への注水とか格納容器へのスプレイ等で使う海水取水用として自主として使うことはあります。
1:05:04	以上になります。
1:05:24	規制庁の義崎です。わかりました。はい。以上です。
1:05:35	センター辺りで、ほかにも、
1:05:38	／すみません私の方から
1:05:43	22 ページなんですけど。
1:05:49	ばかり表のつくり方だけ。
1:05:53	一番上の
1:05:55	セル、一番上というか、炉注とかスプレイとかテルイですけど、それは2リーダーに分かれていて、
1:06:03	大量送水ポンプずっと大量送水車っていうのがあって、
1:06:08	それぞれこれは上のが海水取水で大量送水車が炉注ば原子炉とかもろもろ逃げるほうだと思うんですけど。
1:06:18	その変更後っていうのはろ炉側で使わ変更なしで海側で使うのが変わってま すっていうことなんですけど一方でその二つ下の線のここ綺麗による除熱って いうのは、
1:06:30	この用途が違うものが二つ、一つのセルの中に入ってくる変更なしでやってる んですけど。
1:06:37	どうぞ。
1:06:38	上の表低速度がやや見にくくて結局その改正するときには、
1:06:46	大型送水ポンプ車の大量送水車。
1:06:49	両方使うわけですよ。
1:06:51	ちょっと
1:06:53	セルのつくり方作り方がこの上と、一つ目と三つ目で違うので。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	少し見にくいなと思ったんですけど。
1:07:04	わかりました。
1:07:15	中国電力の田中でございます。またこの表の今のツリーの考え方ですけれども、変更等変更前使用する車両がですね、衛星から自主の手順に関わる等ですね車両の変更かいうことを
1:07:31	わかるようにというところで、上の段上の段のろうというところにつきましては、ミナミの車両を使うところで、変更するものとしなないものがありますので2段に分けてございました。
1:07:44	あと補機冷の部分に関しましては2台とも車両が変更はないというところもありましてちょっと一つつくってですね変更なしという形にさせてました。
1:07:56	以上になりますか、考え方は以上になります。テルイの見方の問題なので、
1:08:04	これだっということ。例えばその一つ目のですね、一つのてるであろうが届きポンプ諸対応早急者。
1:08:11	した上で変更5大型送水ポンプ車荷重質疑応答が送水車、送水用っていう書くっていうのもいいのかなと思ったんですけど。
1:08:20	わかりました。
1:08:23	それから、
1:08:26	この下の※なんですけど。
1:08:30	個目の
1:08:32	5、
1:08:36	いう。
1:08:40	意味を
1:08:41	ここの5個目の御っていうのはどういう意味です。
1:08:45	けられてる。
1:08:52	ここの※の5-5の意味するところがちょっと理解ができなかったんですけどちょっと説明させていただきます。
1:09:00	中国電力の田中でございます。時※5の注釈につきましては、大型送水ポンプ車を使う際にですね、前と上の表の上のところですね炉注とする方の渡そう大量送水車につきましては、
1:09:17	15メートルへと海水取水をして送水するという事でELの15メートル原子炉建物の前で使用するということになります。
1:09:26	それから、まだ一応水槽Aの補給に使うですね大量送水車につきましては、これはの海水取水から送水までを1台で実施しますので8.5メートルバーに使用するんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:40	こちらの手順をですねSAのときに同時に使うことはなくですね、あの海水で改正水源とした創生の場合は、
1:09:51	改正が直接送るところでは並びに話題貯水槽に補給することはないと。
1:09:58	メールは内科水槽に遅れぐらい改正送る場合ですね我々貯水槽が水源となりまして中掘等進めますので、同時に使用することはないんですけども、そういったところですねどちらかのページを使うという意味ですね、記載をさせて、
1:10:14	ございますようになります。
1:10:16	規制庁のテリイです。わかりました。だからその同一のものをしようっていうよりはかぶる手順がないから、同一のものを使用できますっていうこと。
1:10:28	どちらとその何か同じものを使いますっていうか、そのかぶる手順がないんですけどっていうことの意味で使われてるって理解しますけど、その理解っていうか、
1:10:40	有効燃料がタムラでその理解で問題ありません。いただきますとおります。
1:10:46	そういう意味であればもう少し丁寧に書いていただけるとわかりやすいかなと思います。以上です。
1:10:56	中国電力の田中です。表の記載も含めてですね今のところへ等記載のほう検討させていただきたいと思います。以上になります。
1:11:05	はい。
1:11:08	分けて建物ほか、
1:11:11	はい。
1:11:17	規制庁のカドヤで、先ほどのまとめ資料の 43R1 ページのところの表で個目の振り方っていうのでちょっとお伝えしたと思うんですけど、それから参考までにということで多分、
1:11:32	変更の許可を見ていただくと、こういう米のピークは多分していなくて、例えば今 43R1 ページのところの備考で※2 っていうのが一番上にあると思うんですけど、これはそもそもこの可搬型代替交流電源設備括弧高圧発電車っていうのを、
1:11:50	備考として書かれているので、ここに一時※で飛ばしてるもうこれに対する備考ですっていうので多分そのまま書くっていうのが自然なのかなと思ってですね、その人も備考として書いてあるのは、要は左側に書かれた内容の備考で補足をしているので、
1:12:07	そして個目の振り方っていうような作りのところは天候の書きぶりとかもちょっと参考に検討していただければと思います。以上です。
1:12:18	中国電力の藤本です。了解いたしました検討させていただきます。はい。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:34	規制庁のテレイです。／の
1:12:38	ね。
1:12:39	はい。それでは続いて御説明をお願いします。
1:12:45	中国電力の藤本です。コメント回答を行った最後のまとめになりますが土石流判断基準につきまして説明させていただきます。コメントが 125 番から 130 が対象になります。
1:12:56	パワーポイントの対象ページが 24 ページ、2526 ページになります。
1:13:01	説明につきましてはまず 125 番、土石流発生に備えた場合を実施するための判断基準について補完性において説明すること。
1:13:10	先日 12 月 10、11 月 13 日のヒアリングで一応説明させていただきましたが、10 月 20 日からの変更点につきまして、再度説明をさせていただきます。
1:13:20	またコミュニティの 126 番 100 人が 128 につきまして簡易雨量計の仕様位置付けについて、また 129 番の現状現場状況の判断の考え方で 130 の間医療系設置までのタイムラグにつきまして、PowerPointの該当箇所に説明をさせていただきます。
1:13:37	24 ページをお願いいたします。
1:13:41	24 ページの席順おに対してね土石流発生時の判断基準の考え方を説明しております。変更点としまして矢羽の三つ目になります。
1:13:50	発電所構内雨量計が機能喪失し、発電所構内の 3 時間雨量及び 48 時間帯を把握できない期間においては、気象庁による警戒レベルでこちらを判断基準として、設定をいたします。この警戒レベルの導入が導入が変更点になります。
1:14:07	25 ページをお願いいたします。
1:14:11	25 ページ、表 1 のほうで土石流発生に備えた対応にするための判断基準の対応のほうを整理してございます。
1:14:18	表の中央部分判断基準のほうを示しております。前回までは 3 時間雨量及び 48 時間雨量を準備段階並びに実施段階それぞれで定めておりました。これに加えて警戒レベル、住民監査においては、議会レベル 3。
1:14:34	実施段階ではけがレベル 4 というところに設定してその導入の説明をコミュニティ 4 のほうに記載してございます。
1:14:42	常設気象観測設備が機能喪失した後、簡易雨量計及び可搬式気象観測装置により判断基準に定める 3 時間帯をまた 48 が雨量を観測するまでの期間において適用するという事で欠損量の計測期間中の判断として警戒レベルを導入しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:01	なお、先日 11 月 13 日のヒアリング資料におきましては、この注釈におきまして判断基準エコレポートし到達した場合でも監視強化による監視強化により、状況を見て、作業の時期を判断するという旨の記載をしておりましたが、
1:15:17	今回その記載は削除しております。
1:15:19	土石流の判断につきましてはこの表に示す判断基準へ 3 時間雨量 48 時間容量並びに経過レベルを持って判断すると変更しております。こちらコメントの 103、120。
1:15:32	9 番の回答が今のところになります。
1:15:36	続きまして、右肩 26 ページをお願いいたします。
1:15:42	26 ページのほうでコメントの 130 番
1:15:47	どうせ気象観測装置の機能喪失 5 款医療機器を設置するまでのタイムラグの考え方について説明すること。こちらを 26 ページで説明させていただきます。
1:15:56	この表のほう、左から右中に向かって時間が流れていく構成になりますが、一番左側①番の期間になりますが、この期間中は常設気象常設気象観測装置設備が生きておりますのでこちらのほうで雨量継続して判断をいたします。
1:16:12	その後常設機器の常設気象観測設備、こちらは機能喪失した後、その状況では構内で雨量が特定できない状況になりますので、まず系外レベルのほうで実施のほうを判断していきます。これが②番以降の状況になります。
1:16:28	その後勧誘量刑可搬式気象観測装置の順番に設置をしていきます。
1:16:35	その緩和設備の設置、3 時間並びに 48 時間のその時間分の雨量データがそろえば、警戒レベルではなく、継続した値のほうで土石流の判断をしていきます。こちらが④番から⑦番の状況になります。
1:16:50	最終的には可搬式気象観測装置、
1:16:54	方を設置データがとれれば、最終的にこの計測装置のほうで 5 隻論旨のほうを実施の判断していきますと、こちらが⑧番の期間になります。
1:17:03	以上のように、校内雨量計へ常設簡易量刑可搬式のほうで建設測定をして判断していきますが、この計測期間中においては警戒レベルで判断するという方法でことで、タイムラグの意味でも対応することで整理をしてございます。
1:17:19	コメント 130 番の回答は以上になります。
1:17:23	続いてのページのほうでその計装期間中の対応として新たに生かした簡易要件についての仕様等につきまして説明をしてございます。
1:17:34	27 ページになりますが、まず改良径こちらの設置目的になります。
1:17:39	重大事故発生時消火において常設気象観測設備DB設備が機能喪失し可搬式気象観測装置のSA設備を設置するまでの間で発電所構内で雨量ハープ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	電気にできない期間が発生することから、この期間を可能な限り短くするため、
1:17:56	雨量計の継続に特化した装置を設置いたします。
1:18:00	位置付けとしましては、この完了系は常設気象観測設備が機能喪失し乾式気象観測装置を設置するまでの間の雨量継続し、土石流対応に関する関わる判断基準に使用することから、可搬型重大事故等対処設備として配備をいたします。
1:18:16	その人は改良径の仕様を書いておりますが、常設気象観測設備及び可搬式気象観測装置と同様に期初
1:18:24	非常用速記検定の合格品を配備をいたします。
1:18:28	測定は定期的に勤務いただく要員が目視で実施をいたします。
1:18:32	配備数は常設気象観測設備が機能喪失しても大体終了個数として1台、さらに予備として1台の合計2台を確保いたします。
1:18:41	保管場所は排気筒近傍の緊急時対策所内に保管をいたします。
1:18:46	完了計の配置位置は、第1保管料を含んだし、店舗にあたっては近くにタテベ建造物樹木等のないの場合人工芝を確保した平坦な場所といたします。
1:18:58	そのページ右下のほうに完了系の概要を示しております、計測方式は貯水型で、
1:19:04	そこに木質警報で雨量を継続する、確認するというふうな概要になります。
1:19:10	以上がナンバー120620728の間医療系の使用関係の説明になります。
1:19:16	以上で土石流判断基準関係の説明をまとめになりますが、説明を終わります。以上です。
1:19:23	規制庁それでありありがとうございます。それでは、
1:19:28	はい。
1:19:31	はい。
1:19:37	規制庁のカドヤでちょっと先日は
1:19:42	保安院量刑のヒアリングやっぱ営業系の話が中心になっちゃったんですけど、ちょっと25ページのところです。今回その土石流発生に備えた対応を実施するための判断基準っていうことで、
1:19:57	※2のところ過去の実績とかを踏まえて今売るようにしましたっていうことでちょっとまとめ資料に説明があると思うんですけど、少しその過去とか、その降雨の実績っていうのを、
1:20:13	どんなふう踏まえて、この辺りに定めたのかってあたりを説明してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:25	はい、中国電力のマキです。まとめ資料にも記載をしておりますが同様の内容をパワーポイント資料に記載しておりますので、そちらで御説明させていただこうと思います。ちょっとパワーポイント資料の 24 ページをご覧ください。
1:20:40	こちらの回答の欄にですね矢羽を三つ記載しておりますが、そのうち上の二つがただいまの御質問の回答になろうかと思いますが、まず実施段階の判断基準としましては、時省庁へとこちらがですね
1:20:55	平成 3 年以降のデータを雨量観測データというのを持っており、これを踏まえて大雨と特別警報の発表しようというのを定めているところでございます。
1:21:06	そういったある数十年に一度ここで 50 年に 1 度の頻度で発生すると想定されるよと記載しておりますが、こちらの 3 時間雨量 48 時間雨量をこちらの発表指標として用いておりますので、当社としまして、この実施段階、
1:21:21	うちの当社の 25 ページの右の実施段階においては、この雨量基準に達した段階で対応に至って、そういったふうに反映決定をいたしました。
1:21:33	矢羽の二つ目の部分が 12 と準備段階の判断基準に用いた考え方を記載しております。
1:21:41	こちらのほうですねと、島根原子力発電所の過去十年間、2010 年からの 4 月 1 日から 2020 年の 3 月 31 日までの実績を調査いたしました。
1:21:52	これにおいて、実施段階の判断基準で用いている 3 時間雨量 48 時間雨量をこの十年間の分の最高値という観点で調べたところ、過去の再構築の部分がですね、一番下の個目の
1:22:10	2 のところに記載をしているんですが、
1:22:14	発電所における過去十年間の 3 時間雨量 48 時間表の実施を確認したところ、3 時間雨量は 12 が最大値として、2013 年 7 月に 90 ごみえ 48 時間雨量は 10 年が最大値で 2011 年 5 月に 217 波の観測していると。
1:22:31	いう結果があることがわかりました。これを踏まえて、またこの時にはですね発電所で大きな災害等発生していないという事実もありますので、この結果から、土石流の判断や対応を行うにあたっての準備を行う断面としては、この付近の 3 時間雨量 100 ミリ。
1:22:48	100 ミリ以上、48 時間雨量 150mm 以上と定めたものでございます。説明は以上になります。
1:22:55	規制庁の課税です。ありがとうございます。24 ページの※2 に数字が書いてあったんですね、失礼しました。
1:23:02	それでいいと十年間は
1:23:07	95 ミリ、3 時間雨量 95 ミリだからこれは過去の 10 年では、
1:23:14	3 時間無料では警戒対応準備を実施する判断基準には至ってないけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:20	48 時間給でいくと、十年間の最大値でも 150 億を超えている 48 時間 250 億を超えていることがあるということですね。
1:23:30	これ今、実績としては十年間ああですけれど。
1:23:36	ここの十年間で大体、
1:23:40	この発電所は発電所内のデータでもう少し長くあるはずですけど、そこはどこに当たられてないということですかね。
1:23:51	はい。当発電所のシステムの中で、
1:23:55	中国電力のマキです。
1:23:57	失礼しました。日システム上で管理されているデータが十年間あるということがわかりますのでこちらを確認させていただいたものでございます。
1:24:06	で、
1:24:07	すいません補足いたします。中国電力のオオタニで運転日誌で確認できる十年間ごとの中で確認したものになります。あとチャート等がございますけど、そこまでは確認しておりませんので、デジタルで確認できる範囲で十年間さかのぼって確認してます。以上です。
1:24:25	手帳の課税でしょうわかりましたが確認できる範囲で確認してこの後はいいということですね。
1:24:31	ちょっと確認ですけど、結構これ開通収入とかの判断基準値まあ最終的には短時間 150 ま 48 時間 360° っていうのは、その判断基準にもなっていて、
1:24:47	毎年何かヒアリングのときにもうこのなかなか判断基準の定め方っていうのは、なかなか内悩ましいところがあって御説明もあったと思うんですけど、それぞれの辺りでこれあまり過度に保守的にやり過ぎてしまうと、結局簡単に海水注水っていう
1:25:06	判断にするっていうことで、大変難しい問題なんですけども、そのどのあたりを悩まれた部分があるのかというところがあれば説明してください。
1:25:25	はい、中国電力の大谷です。家判断基準のパワーポイントの 25 ページ、デジタル機器させていただいてるんですけど、内もしかあったところですね判断基準の 3 時間雨量 48 時間降雨量の計測器の準備段階はまず準備なので、
1:25:42	過去の実績を照らして徹底いたしております。
1:25:46	じゃあ実施段階でどうかっていう、いうことになったときに、なかなかデジタルの設定が難しいということもございます。
1:25:55	そういう意味で、後の予算飛ばしておりますけれど、避難勧告等に関するガイドラインであの公開されてる経過レベル 5 相当の
1:26:05	雨量データっていうところで、ちょっとから出されてますので、まずはこれを持って判断すると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	設定するというのいいのではないかとということでデジタル値としてはこの 150 と 346 を設定いたしております。
1:26:19	ただ悩ましいところがこの後、
1:26:22	常設の機能を常設の気象観測設備が機能喪失した場合でそのあとφ雨量計、可搬式を設置するわけですが、
1:26:32	常設から有力設置するまでの間は、
1:26:37	時間タイムラグがないかという、あるもので、そこについて、じゃあ、どうい
1:26:43	形で低速が実際できないという状態になりますので、そこについては、
1:26:50	市町村もしくは気象庁から出される警戒レベル相当ということを用いるということ、今回このような判断をしております。
1:26:58	ですからペーパーレベルの設定といたしましてはデジタルとしては警戒レベル 5 相当になってございますけれど、実際の構内雨量が図れないということを持ちまして、人ランプちょっと落とした形で警戒レベルとしては 3 と 4 億。
1:27:14	設定するというので、そのほうでちょっと悩んでこういうような設定をさせていただいております。以上です。
1:27:22	規制庁のカドヤです。わかりました。ありがとうございます。
1:27:26	なんかやっぱりなかなか重い判断にはなるので、
1:27:30	ここはでも一つ下げてっていうご判断をされたということで、
1:27:38	わかりました。中時にするところは過度に保守的になってないかなっていうところとかは気になるんところではあるんですけども、
1:27:46	説明の趣旨は理解を日ましと。
1:27:52	それで、今ご説明のあったその悩ましい中でっていうところの、まさに先日のヒアリングで確認させていただいたこの勧誘量刑のところの話。
1:28:04	26 ページの話になりますけれども、
1:28:11	これ
1:28:13	結局その可搬式気象観測装置にしても、がん医療系にしても、それを設置するまでにはタイムラグが生じてしまうので、そこはその警戒レベルっていう判断を導入しますっていうことで、
1:28:28	なかなかいろいろ、これ今ここに表にある通り①から⑧まで大分複雑になったなという印象はあるんですけども、
1:28:41	今ここで科医雨量計を可搬式気象観測装置を設置するまでの間に挟み込むっていうことの
1:28:52	何かメリットという形でメリットは多分その警戒レベルの対応時間が短くなっているとかいうことなのかもしれないですけど。
1:29:01	それに加えてトレイを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:04	やることで手順が複雑になると思うんですけどそのあたりのメリットデメリットっていうのは何かどんなふうに考えられましたか。
1:29:17	中国電力の南です。今カドヤさんの御指摘の通りのメリットデメリットはあると思っております。またその可搬式気象観測装置につきましては、現状現段階でその土石流の判断指標とは考えていなかった時点のときに、
1:29:35	少し本社管理班の動きとして、変わってっ放しでモニタリングポストなどのほうを優先して最後の断面で乾式と観測装置を設置するということで今タイムチャートを示させていただいております。
1:29:51	その観点でいきますと、かなり門とか装置は常設観測常設気象装置設置エア機能喪失してからですね、時間がありますが、／てしまいますので、その観点からも含有量計を設定することで、
1:30:07	この時間が少しでも短くなるというふうに考えて、こちらの涵養量計を設置する手順を追加したというものになります。ご説明以上になります。
1:30:18	委員長からです。そういう。
1:30:25	はい。
1:30:26	私からはとりあえず以上です。
1:30:44	規制庁中村です。すいません、ちょっと一つ整理しときたいんですけども、今
1:30:50	当期計画で見るとということで整理されてるんですけど、この経過レベルというのがまず自治体一本松医師が出す警戒レベルが345。
1:31:02	あと気象庁は警戒情報として出す経過レベル相当情報が大金特別警報ですとか、そういったものがあるんですけども、先ほど風の説明を聞いてると。
1:31:13	おそらく中国電力さん、気象庁の警戒レベル相当上方のほうを判断基準として動かれてるんじゃないかなという印象だったんですけど、そこら辺はどんな感じでしょうか。
1:31:27	はい、中国電力の大谷です。今中村さんおっしゃった。
1:31:31	だからますように、今は、弊社で考えてるのは、気象庁から出されます警戒レベル相当という
1:31:39	ふうに考えております。そういう意味でご質問いただいているところだから、25ページの警戒レベル等、あと26ページの表町発令の警戒レベルをいろいろ冒頭とか警戒レベル、どちらか。
1:31:55	いうところが多分明確じゃないかっていう、そういう趣旨かと思うので、そこはちょっと整理させていただこうと思います。以上です。
1:32:05	気象庁の計画外情報ということでしたらそちらのほうで記載の統一をお願いしたいと思います。
1:32:12	あと相談叔父が5時半ですけど、ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	24 ページの※2 で
1:32:21	2011 年 5 月の通信において計画でⅢ層等が発令されているというふうに記載があるんですけども。
1:32:29	この境界に相当しているのが始まったのが去年なので、ちょっとそこら辺のほう書きぶりはちょっと工夫して新しい
1:32:39	赤字にしていただければと思いますがいかがでしょうか。どうぞ。
1:32:42	はい、中国電力の谷です。これたちからの警戒レベル 3 層とかつていうの強化されておりません。ちょっと
1:32:50	こちらでもちょっといろいろ調査した結果として書いてありますけども、おっしゃる通りで、ちょっと記載は適切に修正させていただきたいと思います。以上です。
1:32:59	はいよろしく願います 90 ナカムラズ、私から以上です。
1:33:13	議長の点です。すいません。26 ページの表を
1:33:20	なんですけど、やっぱりちょっとカドヤとのやりとりもあったと思うんですけど。
1:33:24	今
1:33:27	／可搬式気象観測早期設置完了が、
1:33:33	簡易雨量計設置完了から 3 時間経過した後になってね表示と④のどこですか。
1:33:44	そうするルートは今あれなんですけど、この可搬式気象観測装置っていうのはもう／含有量計、計測開始から 3 時間経過後にしかならないというような、これが早くなったりすることがないっていう
1:34:01	或いはその一番遅いパターンだと 3 時間超えるっていうことなんです。
1:34:06	でしょうか。
1:34:08	中国電力の南です。最後のご指摘の通りでして、可搬式気象観測装置は、
1:34:15	当放射線班が 3 名しかいない夜間休日の場合においては、一番最後のほうにタイムチャート引っ張ってありまして、最終的には事象発生から約 11 時間後に設置完了というふうになりますので、
1:34:31	その意味では内雨量計設置階雨量計、計測開始から 3 時間経過以降に、可搬式気象観測装置の設置が完了するというのが場合があるということになります。以上です。
1:34:47	規制庁のテリイです。そうすると、この一番最後に可搬式を置くっていうことなので、その前はだからモニタリングポストの先ほど御説明ありましたけどモニタリングポストの設置をしに行っているということだと思う。
1:35:03	ですけど、それはその理解でいい。
1:35:08	中国電力の南です。はい。その理解で結構です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:11	以上です。
1:35:12	規制庁テルイです。そうすると、今事象の想定としては、来降雨が
1:35:22	気象観測装置とモニタリングポストが、
1:35:27	同時に壊れているということの想定になると思うんですけど。
1:35:33	そうすると、
1:35:34	何か時おそらく剰余系機器、dBの常設の機器でいうと、耐震Cなので、
1:35:45	そので全部が壊れてるっていう想定は、地震起因であるというふうに総合されるんですけど、そうするとその
1:35:54	地震等、
1:35:56	SA等、
1:35:58	多量の降雨っていうものの重畳を
1:36:03	今考えてるという理解をすればいいのか別の想定置かれてるんでしょうか。
1:36:12	中国電力の南です。ご理解の通りですね今現状はそのパターンで一番まずまずてきや一番よくないパターンで今検討した結果をここにお示しております。以上です。
1:36:26	わかりませんが、規制庁テルイです。わかりましたけど、改めて確認しますけど、今置いている想定は、地震と、
1:36:37	SAとここがちょっとしてる場合だとこの先にモニタリングポストの可搬沖に行くので。今可搬式の気象観測装置が 11 時間後ぐらいに設置可能になるので、その前に完了系を聞くと、
1:36:55	いうことを今とってるんですけども、
1:37:00	中国電力の南です。はい、理解の通りです。以上です。
1:37:04	ちゃんと水D1 回はしました。
1:37:09	かなりまれなケースなんじゃないかなという気がしますけど一応そういうことですね。
1:37:14	あと、それから 25 ページのほうで警戒レベルは、この常設で計測できてないから、一段掛けた値にしてるんですけどという御説明だったかと思うんですけど、その
1:37:29	計測できてないから 1 一段階下げるっていうのはどういう理由からなんですけど、もう一度御説明いただけますでしょうか。
1:37:41	はい、中国電力のオオタニで実際に発電所構内の雨量を想定した上での判断っていうのが第一義的にはこの通りかと思うんですけど、当然そのままセイキいろんなところで出たときに必ず

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:59	もう構内の不良の状態というのは、乖離する可能性がゼロではないということもございまして、そういう観点で、実際の発電所構内の量を測定していないということがございまして、経過レベル 5、
1:38:14	というよりは、
1:38:16	実際の
1:38:18	準備段階の実績のところは 3、
1:38:21	等々というものが該当するような
1:38:25	実績なので、意味で、
1:38:29	一側できてない状態としては、今は 4 を設定しているという考え方で、
1:38:34	委員長。
1:38:38	規制庁のテイルです。わかります。
1:38:42	どうぞ。
1:38:44	とりあえず私から以上です。
1:38:46	ちょっとほか何かあります。
1:38:52	規制庁においてです。今同じページ、26 ページで、
1:38:57	ちょっとちょっとイメージなんですけど、この丸
1:39:00	⑤のところ、ファン式の
1:39:05	地表観測走時
1:39:07	設置完了後、その前に限る系設備設置から 3 時間経過したと思うんですけども。
1:39:13	これ⑤に涵養系統、前可搬式熱を多数ってあるんですけども、このイメージなんですけど、ここの
1:39:24	どの時点のやつを、
1:39:26	時間毎に測定することで、少しこのやり方教えて欲しいんですけど。
1:39:32	中部電力の南です。涵養量系につきましては、今現状 1 時間おき程度、高が確認されている場合ということになります。1 時間程度に目視でその雨量を確認するということを考えてございまして、⑤可搬式気象観測装置につきましては、その後は、
1:39:52	松戸観測リアルタイムほぼリアルタイムで把握できるようになりますので、少し本質的になりますが、④番のところの雨量は 1 時間大きな値をその判断の基準として用いてそれに⑤の期間、資金 3 時間の値として、
1:40:10	⑤の期間で計測された値を足し込んでいくというようなことで、力発電所構内の量を測定していくということは考えております。
1:40:19	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:22	ヨシザキっていう説明終わりました、少しそこがわかるように工夫して欲しいというのと、これは人先ほど無理難題放射線班 3 人と言ってますけど。
1:40:35	勧誘量刑のほうは、これ誰が見てるんですよ。
1:40:43	中国電力の南です。現在放射線班のもう 1 名案を 3 名いる中で二名が主に作業をしているんですけども 1 名が低角時間体がございますのでこちらの方で設置して家族するということを考えてございます。
1:40:59	以上です。
1:41:02	規制庁日赤で 3 名位の 1 人が
1:41:06	款医療系のほうにもあって、2 人でそのものに当本番したり、やるということで、
1:41:12	その辺の作業をせいというかね 1 人減ることによってその影響は何か評価しているんですかね。
1:41:22	中国電力の南ですが、ノ量が成立することを確認しております。以上です。
1:41:31	ちょっとその辺の整理して欲しいんですけど立法
1:41:35	可搬モニターとしては内重量が重くて持っていくとかがあって、分割すると。
1:41:41	やっぱり 2 人逃げたんでしたっけ、少し
1:41:45	そこがよくわからないんで、
1:41:49	説明ができるようにしてください。
1:41:52	中国電力の南です。この可搬のモニタリングポストとかですねあの辺の作業発端間の作業はすべて二名で二名で実施できるような手順としておりますので、基本的には二名が回っていけるようにしているというようなことになっております。以上です。
1:42:12	規制庁としてそもそも二名で売り先で 3 名ってのは、残りの 1 人なにより、
1:42:19	中国電力の南です。残りの 1 人はですね緊急時対策所において、緊急時対策所のチェンジングエリアを、ほとんど H 完了しているんですけどその確認をするのですとか、あと緊急時対策所のエリアモニターこれも可搬のものですが、これを設定するとかですねまあそういうことを言ったんです。
1:42:38	それ以降は緊急時対策所にて対応入ってその状態確認を実施する要員として 1 名確保しております。以上です。
1:42:48	規制庁に出席する最小からあまり作業量のない人が、今回この改良系のほうをやるってことで、今の説明をいたしましたけど少し
1:43:02	変更前後で人の動きが変わるんだったらその
1:43:06	当該上やらなくてなくてもいいという必要性ですね、そこは今の現状の人数でいけるっていうんだったらその確認を説明をしてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:16	私から以上です。
1:43:18	中国電力の南です。了解しました。以上です。
1:43:31	規制庁のテリイです。先ほどちょっと事象想定のところであるね。改めて確認なんですけど。
1:43:43	そのもともとのそのSAと王道士のう事象を組み合わせるのかなっていうのは、整理をされているかと思うんですけど。
1:43:56	それによって、だからSBAと。
1:44:00	基本的に時基準地震とSAと土石流っていうのは、高高部ですね降雨というのは、
1:44:10	独立事象で整理させた上で、頻度で組み合わせるっていうふうになっていると思うんですけど。
1:44:16	現状
1:44:19	想定として、SAと。
1:44:22	地震等土石流枠組み合わせるっていう整理しているんでしょうか。
1:44:33	中国電力の吉岡です。
1:44:35	基本的にアクセス性の観点ですとかそういうところを確認するところではSAと大間地震とか土石流といったところの組み合わせ考えた上で、
1:44:47	成立性を確認するという方針としております。以上です。
1:44:53	規制庁の田尻です。ただ三つすべて浮く組み合わせても成立するように考えているっていうこと。
1:45:00	ですから、今の御説明
1:45:05	上に文章回数も理解の通りでございます。以上です。
1:45:42	規制庁のテリイです。それあの、
1:45:46	もう1回確認しますけど。
1:45:49	それぞれの事象が、
1:45:52	例えばSAと竜巻が重畳した場合でも、例えば保管場所から分散してあるから、放題状況、また別の方から大丈夫ですとか、或いは地震、地震があっても、例えば保管場所とアクセスルートは、
1:46:10	対比で確保しているので大丈夫ですっていう基本それぞれの組み合わせる事象が特に15億でなければ、それはそれぞれ独立して、SAと組み合わせても大丈夫ですっていうことなんだと思うんですけどその
1:46:27	これはあれですけど、地震等、
1:46:30	土石流に関しては、
1:46:33	両方重畳する。
1:46:35	ということなんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:42	中国電力の
1:46:45	中国電力の山本でございます。
1:46:47	事故としてですね、重畳するかという、それを考えているわけではなく、地震起因でSAの状態になったときに、土石流とか、そういう状態がパークできるような状況を加工しておくというのが、
1:47:04	SAの中での保管アクセスの考え方かなというふうに考えておりました、それで今土石流の観測ができるという状態にしようとしているものです。あくまで、この状態で、もう大雨が降って土石流が
1:47:20	起こるということを想定してるっていうわけではないかと思っております。以上です。
1:47:26	弊社のテリイです。
1:47:28	ばかりなので、
1:47:30	まあ地震起因でSAが起きた時を想定をして、そのときに、
1:47:38	そのままそのSAが起きているという状況下で、
1:47:43	きちんと把握できるように取得。
1:47:47	導入という意味で関わりあってるってことです。
1:47:50	そういった意味でだから政党土石流だけしか、ある意味では、
1:47:56	組み上がってない状態になってるってことなの。
1:48:00	はい、中国電力の山本でございますと、
1:48:04	という、そういう理解になろうかと思えます。以上です。
1:48:10	きちとなってるんです御説明は理解をしました。
1:48:16	私からとるでしょ。
1:48:18	少々お待ちください。
1:53:24	規制庁のテリイです。すいません。お待たせしました勧誘量刑の件で
1:53:30	権利だけ確認なんですけど。
1:53:32	監事可搬衛星設備として配備するということなので衛生設備の要求がかかることになると思うんですけど。
1:53:40	を監視測定の実要求ですか、広く要求があるかと思うんですけど、そうするとこれ今記録方式はもう目次による確認でサプリー記録ってことになってますけど、何かその、その記録したものは紙に起こして保存するとか、
1:53:58	そうそういうことになるんですよ。
1:54:04	中国電力の南です。はい。作業員が進捗して広く要旨を広くやせて記録するという手順で記録したいというふうに思っております。以上です。
1:54:17	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:20	なのでその中でそのデジタル的っていうよりかはアナログ的にメモメモリーでいた。
1:54:30	ものとの
1:54:32	何でしょう、確認の頻度みたいなものまで決めている。
1:54:36	サンプリングする記録を
1:54:38	保存する卑近と。
1:54:42	中国電力の南です。降雨の状況にはよるといふふうに思っておりますが、1時間単位最悪1時間で管理すれば、この土石流の判断基準を明確にすることが可能と考えておりますので、
1:54:57	一番短い期間で1時間ごとに確認するというような手順としたいといふふうに考えております。以上です。
1:55:06	聞いた通りで、1時間後という。
1:55:09	今、今議事録という考えということで理解しますと、その上ですね、この
1:55:14	款医療系。
1:55:16	なんですけど、1時間でアブレータ伺ってるということにはならないものっていう理解できる。
1:55:25	中国電力の南です。先ほども御説明させていただきましたが短時間の雨量で最大90
1:55:33	ごみの雨量が十年間で確認されておまして、今回御用意するものが最低でも、10ミリ以上、あ、すいません、失礼します100ミリ以上を計画パネルというようなものを準備することを考えておりますので、
1:55:49	時間の雨量であれば確認可能といふふうに考えております。以上です。
1:55:55	規制庁のテレイです。実績から考えて十分容量のあるものをつけるということで理解をしますが、
1:56:03	私からは以上ですけど、ほか何か。
1:56:36	規定でやられてる、今のちょっとテレイとのやりとりの記録のところなんですけど、先ほど雨が降っているような状況で一番短ければまあ1時間ごとに記録を取ってっていうご説明だったんですけど、
1:56:51	広がってという意味でいくと、仮に天気が全然雨とかが降ってなくて入れても、0mmなら0mmっていう記憶は結局とり続けていかなきゃいけないのかなと思うんですけど。
1:57:03	それが今一番短いときは1時間っていうことなんですけど。
1:57:08	記録としてはでもとり続けるという理解でいいですかやなんか天気がよければもう切ることはありませんっていうことでは、
1:57:17	なく、こういう理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:20	中国電力の南です。ご指摘理解しましてすいません。
1:57:25	説明が悪かったですけどこの間有料計を設置してる期間はそれほど長くはないというふうに考えておりますので、1時間おきに記録を続けるということで、手順は制定したいと思います。以上です。
1:57:39	8ページのカドヤです。理解しましたありがとうございます。
1:57:44	中国電力の南です。すいません、あの可搬式雨量計が設置完了しましたらこの回雨量計での記録は早め早めてみるとやめる予定ですので、そういう意味で監視の期間が短いというふうに御説明させていただいた次第です。以上です。
1:57:59	合併とかではわかりません考えなければもう役目を終えるってということで理解をしています。ありがとうございます。
1:58:16	傾斜わけです。何かありますでしょうか。
1:58:22	はい。
1:58:23	一応今日のメニューは以上で終了です。
1:58:33	聞いたテルイです。
1:58:34	本日未明にとりあえず以上でよろしいでしょうか。何か説明してございますか。
1:58:41	中部電力の森本です。以上でございます。
1:58:44	はい。それでは全体を通じて何か言い残したことがあればお願いします。
1:58:49	はい。
1:59:00	規制庁の服部です。
1:59:02	一つだけ確認させてください、まとめ資料の61ページをお願いします。
1:59:20	このページの一番下に書いてある。
1:59:26	液状化を想定した噴砂による不陸の影響評価、
1:59:31	という文言ですけれども、
1:59:35	粉碎による陸の影響評価というのは、
1:59:38	どのような評価をイメージされ、想定されていますでしょうか。どうぞ。
1:59:53	中国電力のヨシツグでございます。
1:59:56	どう。
1:59:57	その次のページ、次の第3の62に記載をさせていただいておりますけれども、
2:00:03	当メーター戻し部のところがまっすぐな等で噴砂をしてですね、くぼみとか段差ができるようなことが考えられます。そういったところが想定される場合につきましてはこのような対策例を少し記載しておりますけれども、
2:00:21	コンクリート省版等で、
2:00:23	水が抜けてですね、不陸や長くといったものでもちゃんと通れるような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	照岸みたいなものを設置するというふうなことを考えております。以上です。
2:00:38	規制庁の服部です。
2:00:40	そうするとこの噴砂により負の影響評価というのは、
2:00:44	何らかの数値解析みたいなものをで評価するというわけではなくって、
2:00:49	あくまでも噴砂による不陸の影響が考えられるため、対策をしますということを書いてるのでしょうか。どうぞ。
2:01:00	はい、中国電力のヨシツグでございます。保管場所におきまして、
2:01:05	と地下水との関係が出てくると思いますので、地下水が地表面まで出てくるような場所につきましてはこういった対策工をもう先行して実施するといったものでございます。以上です。
2:01:19	規制庁の服部です。例えば何らかのこういう不陸の影響評価できる有効応力解析のものもやって、
2:01:28	不陸の影響があるというものについては対策をするということではなくて、
2:01:33	考えてっと定性的に間想定される場所はすべて対策をするという理解でよろしいでしょうか。どうぞ。
2:01:42	はい、中国電力のヨシツグでございます。解析までは今考えておりませんけれども、近しいが高くてこういったある程度の噴砂を起こすような埋戻り材料があるようなところにつきましては対策を実施することを検討しております。
2:01:59	以上です。
2:02:01	規制庁の服部です。わかりました。私からは以上です。
2:02:09	LESホッパーよろ。
2:02:13	はい。
2:02:14	はい。
2:02:17	これ内容ということで本日のヒアリングはこれで終了したいと思います。ありがとうございました。
2:02:26	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。